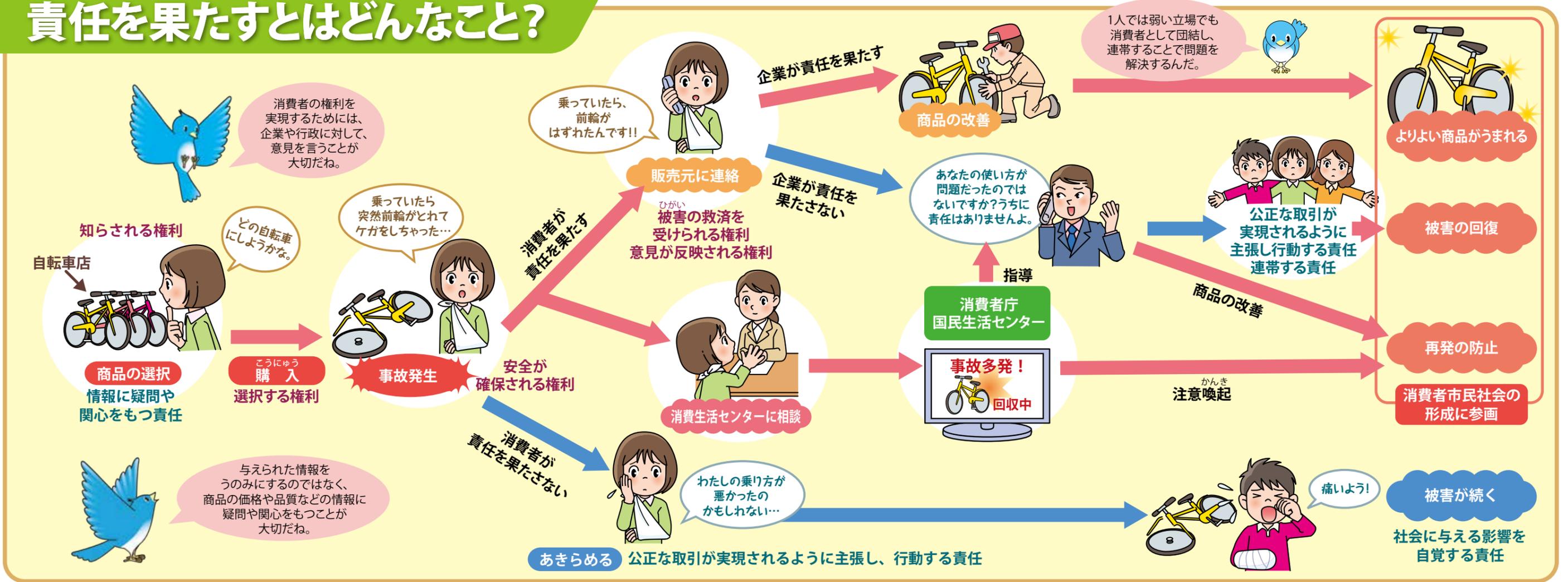


消費者が権利を実現し、責任を果たすとはどんなこと？

★考えてみよう★

消費者の権利を実現するために、私たち消費者は何をしたらよいでしょうか。また、消費者が責任を果たすと、どのようなことが起きるでしょうか。下の図を参考に考えよう。



権利

- ①安全が確保される権利 → 健康や命にかかわる危険な商品によって消費者が危害を受けることがないよう保障される
- ②選択する権利 → 自分の意思で自由に商品やサービスが選択できる機会が保障される
- ③知らされる権利 → 商品を選ぶときに、正しい表示やお店の人から適切な情報を知ることができる
- ④意見が反映される権利 → 企業や消費生活センターなどに意見を申し出たときに、意見が反映されて対応策がとられる
- ⑤消費者教育を受けられる権利 → 被害や事故にあわないような消費者センスを身につけるため、事前に学校や家庭で学ぶ
- ⑥被害の救済を受けられる権利 → 被害を受けて企業や消費生活センターなどに相談したときに、被害を回復するために対応策がとられる
- ⑦基本的な需要が満たされる権利 → 生活に必要なものが保障される
- ⑧健全な環境が確保される権利 → 健全な生活環境の中で働き、生活する

責任

- ①商品や価格などの情報に疑問や関心をもつ責任 → 与えられた情報をうのみにするのではなく「あれ?何かおかしいな?」と疑問や関心をもつ
- ②公正な取引が実現されるように主張し、行動する責任 → 買った商品に問題があったときに、販売元に問題の改善を求めたり、消費生活センターなどに相談する
- ③自分の消費行動が社会(特に弱者)に与える影響を自覚する責任 → 消費者の行動は、自分だけでなく、商品を生産する人達のくらしや社会全体に影響を与えていることを自覚する
- ④自分の消費行動が環境に与える影響を自覚する責任 → 環境に配慮した商品を選択したり、ゴミの出し方に配慮するなど、消費者の行動が環境に影響を与えることを自覚する
- ⑤消費者として団結し、連帯する責任 → トラブル解決のために、被害にあった人が一緒になって問題に立ち向かう

A.権利を実現するために消費者がすべきことは?

B.消費者が責任を果たすと、どのようなことが起きる?

★消費者の権利は、国の消費者政策の基本方針を定める「消費者基本法」に定められています。消費者の責任は国際的な消費者運動の機関である国際消費者機構(CI)が提唱したものです。